

# 施策評価表

平成28年度分

①	施策コード	7・2・1					
②	施策名	広域的で多様な交流を生み出すしくみづくり	評価担当課	企画財政課	総合戦略	行政経営	過疎
③	目標	行事やイベント等の交流の場の充実に満足している町民の割合 交流活動を通じての元気な地域づくりに満足している町民の割合					
④	⑤ 現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 毎年、姉妹都市である北海道北見市及びアメリカ合衆国ヘメット市と「教育・文化・スポーツ」等の交流を行い、国内外を問わず相互の友好を深めています。</li> <li>◆ 丸森ファンネットワーク事業は、会員(町外者)の方に対して定期的な会報による情報発信や特産品の提供を行っており、会員の方からは本町のまちづくりへの意見・提言をもらうという新たな視点での友好を深める交流施策を行っております。</li> </ul>	施策の内容	姉妹都市交流事業や丸森ファンネットワーク事業を通じて広域的で多様な交流により、地域づくりや人づくりを行い、交流による新たな視点を取り入れたまちづくりなどを推進していきます。			

⑥ 目標指標

指標名	単位	基準値	目標値(上段)・実績値(下段)						
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
丸森町姉妹都市交流事業参加者数	人	42	90	100	214	-	-	50	
丸森ファンネットワーク運営協議会会員数	人	72	100	108	80	80	80		

構成事務事業の事業費合計(単位:千円)

構成事務事業の事業費の合計	27年度	28年度	29年度(計画)	30年度(計画)	31年度(計画)
	5,300	5,450	105,430	205,430	5,430

1年間の取組の総括

⑧	1年間の主な取組と成果	姉妹都市交流事業や丸森ファンネットワーク事業を通じて、広域的で多様な交流を実施し、人づくりやまちづくりに寄与した。	
⑨	施策の進行管理 (構成事務事業の評価結果をもとにした施策の進捗状況の判定)	○	【◎】おおむね順調 【○】いっそうの推進が必要 【△】抜本的に見直しや改善が必要

今後の取組

⑩	今後の取組	姉妹都市交流事業については、引き続き、子ども交流や物産交流の事業により、姉妹都市としての交流を行う。また、姉妹都市交流がより町民へ広がるよう、事業の情報発信や会員の募集などを積極的に行う。  丸森ファンネットワーク事業についても、町の特産品の提供や町外の方々との情報交流を通じて、町のまちづくりに活かす。また、まちづくり寄附金(ふるさと納税)制度を導入していることから、本事業の見直しを検討する。
---	-------	--

⑪	次年度以降の方針(主担当課)	見直しのうえ継続	【説明欄】 姉妹都市交流事業については、引き続き姉妹都市交流を行いながら、協会会員が活動に深く関わるよう、方法を検討する。また、姉妹都市交流がより町民へ広がるよう、事業の情報発信や会員の募集などを積極的に行う。丸森のファンをまちづくりに活かす方法などを検討し、ファンネットワーク事業のあり方を見直す。
	委員会評価	見直しのうえ継続	【委員会意見欄】 引き続き、姉妹都市交流事業や丸森ファンネットワーク事業を通じた広域的で多様な交流により、地域づくりや人づくりを行い、交流による新たな視点を取り入れたまちづくりを推進していくこと。外国人観光客誘致事業について推進すること。